

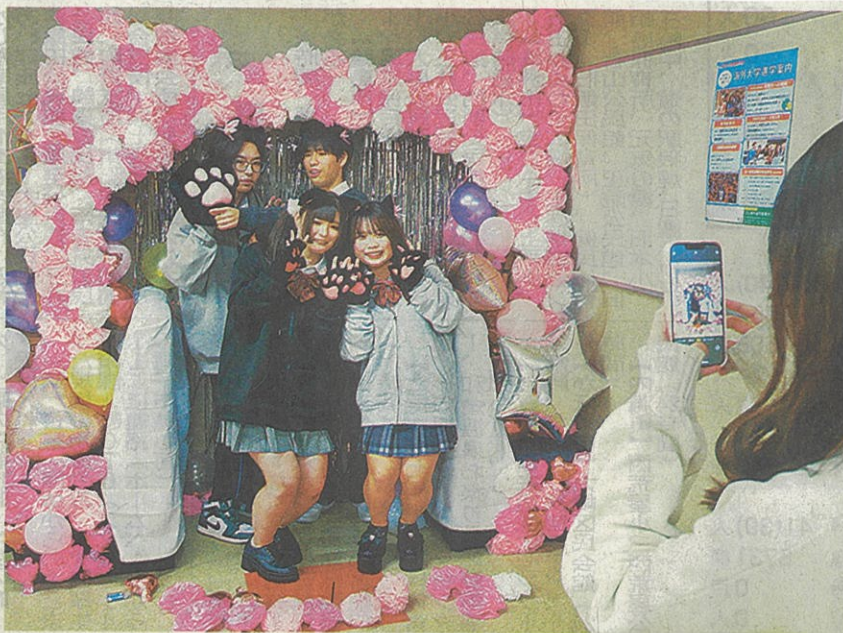


北陸中日新聞
HOKURIKU CHUNICHI SHIMBUN
(金沢)
'24.11.16

被災猫 保護活動知って

第一学院高 文化祭で企画展示

金沢市堀川新町の通信制「ヤンパス」で15日に始まった高校「第一学院高校金沢キ」文化祭で、能登半島地震



保護猫活動を紹介する文化祭で設置したフォトスポットで撮影する生徒たち＝金沢市堀川新町の第一学院高金沢キャンパスで

で被災した飼い猫の保護活動を支援する企画展示会が開かれている。生徒たちは保護団体を支援しようと、キーホルダーなどを作って販売。16日午前10時～正午は一般市民も入場できる。

課題解決型授業の一環で、1、2年生約20人が9月から取り組んだ。今月4日には野々市市のNPO法人「こねこサポーター」を訪れ、能登半島で飼い主とはぐれたり、餓えなくなったりして保護された猫のシェルターを見学して活動について学んだ。

「物資や資金が足りていないことが分かった。貢献できることがあるのではないかと思った」と高松巧志朗さん(16)。展示では、動物保護と譲渡の仕組みや課題を解説し、猫の写真や並べた。ピンクと白色でかわいらしく飾り付けたフォトスポットも用意。粘土などで制作した猫のキーホルダーや猫の写真入りティッシュを販売してい

る。

リーダーの清水諒太さん(16)は「保護猫の存在と活動を詳しく知る機会になる。かわいいストラップもゲットして寄付もできる」と来場をPR。杉林翼さん(16)は「猫を飼う時に、保護猫という選択肢もあると知ってほしい」と話した。

(奥田哲平)